

3) 移植結果

N-4 地区と H 地区において、表 6.3-8 に示す 8 種 58 株の移植を実施した。

N-4 地区では、 3 株、 6 株、
 6 株、 1 株、 1 株の計 17 株を移植した。H
 地区では、 8 株、 5 株、
 9 株、 19 株の計 41 株を移植した。

移植地については、N-4 地区では N4①と N4②の 2 ヶ所、H 地区では H①と
 H②の 2 ヶ所であり、それぞれの移植地に移植した株数及び移植年月を表
 6.3-9 に示し、その位置を図 6.3-24、図 6.3-25 示した。

なお、移植した 8 種の生態特性を図 6.3-26～図 6.3-29 に示した。

表 6.3-8 本事業における移植状況

No.	種名 ^{注1}	移植した株数		
		N-4.1	N-4.2	H
1	<input type="text"/>	2	1	
2				8
3				5
4		3	3	9
5				19
6		6		
7		1		
8		1		
小計		13	4	41
地区別計		17		
合計		58		

注) 花の形態を確認できなかったため、として移植した。後に開花からと確認された。

表 6.3-9 移植地別の株数及び移植年月

No.	種名	移植地名			
		N4①	N4②	H①	H②
1	<input type="text"/>	3 株 (平成 19 年 7 月)			
2					8 株 (平成 20 年 2 月)
3				5 株 (平成 19 年 7 月)	
4		6 株 (平成 19 年 7 月)		5 株 (平成 19 年 7 月) 4 株 (平成 20 年 2 月)	
5				4 株 (平成 19 年 7 月) 15 株 (平成 20 年 2 月)	
6			1 株 (平成 19 年 7 月) 5 株 (平成 24 年 8 月)		
7		1 株 (平成 19 年 7 月)			
8			1 株 (平成 24 年 8 月)		
株数小計		10	7	33	8
地区別の株数合計		17		41	

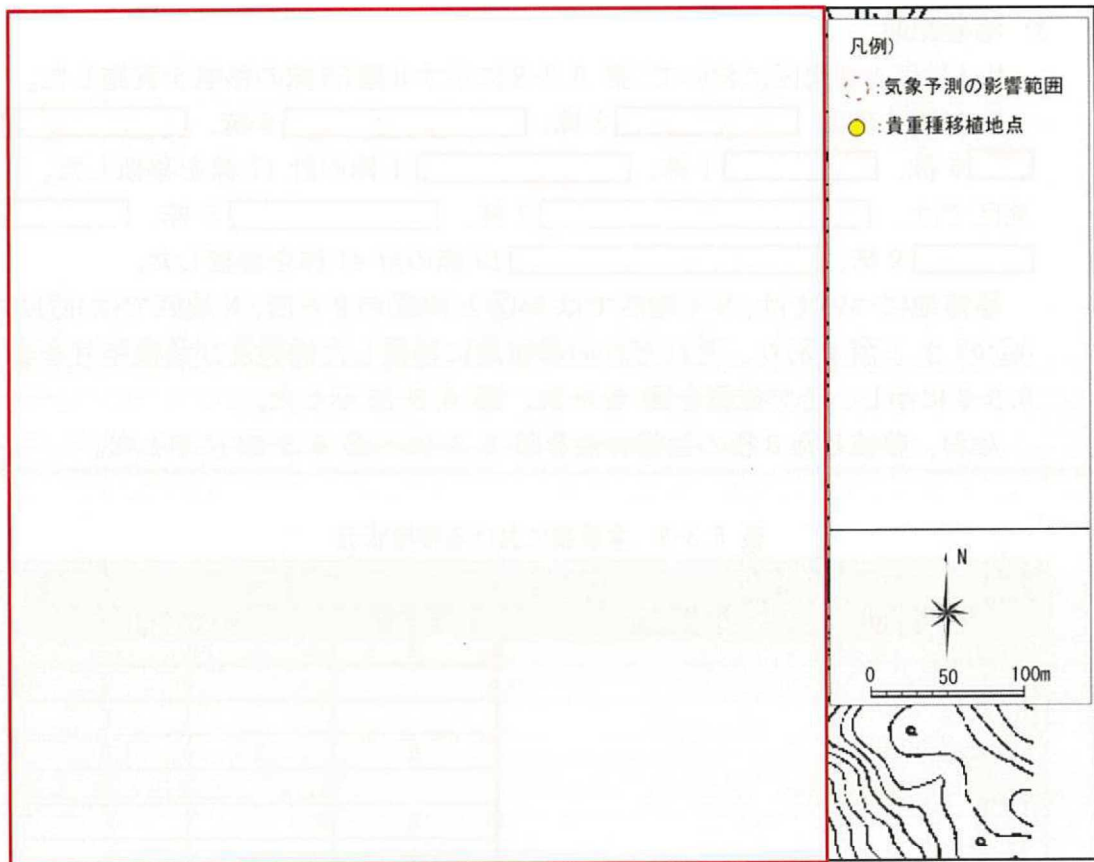
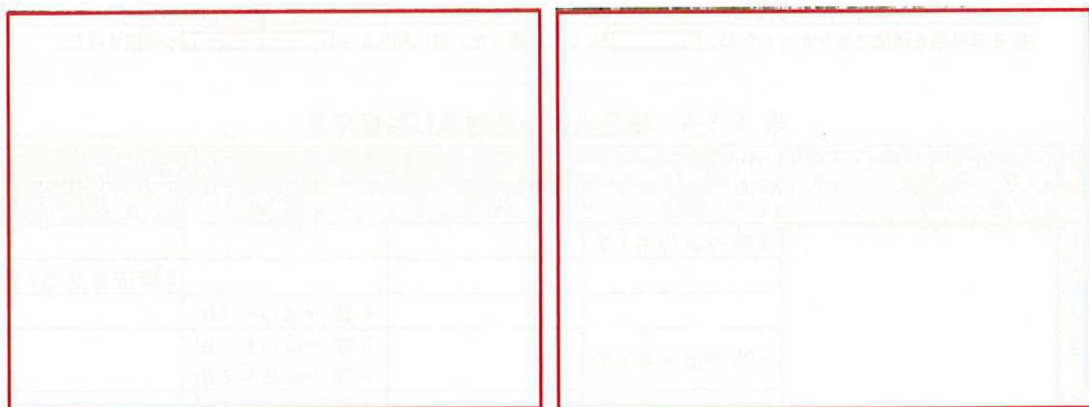


図 6.3-24 貴重な植物の移植地点(N-4 地区)



移植地 N4①: 林内

(, , を移植)

移植地 N4②: 草地

(, を移植)

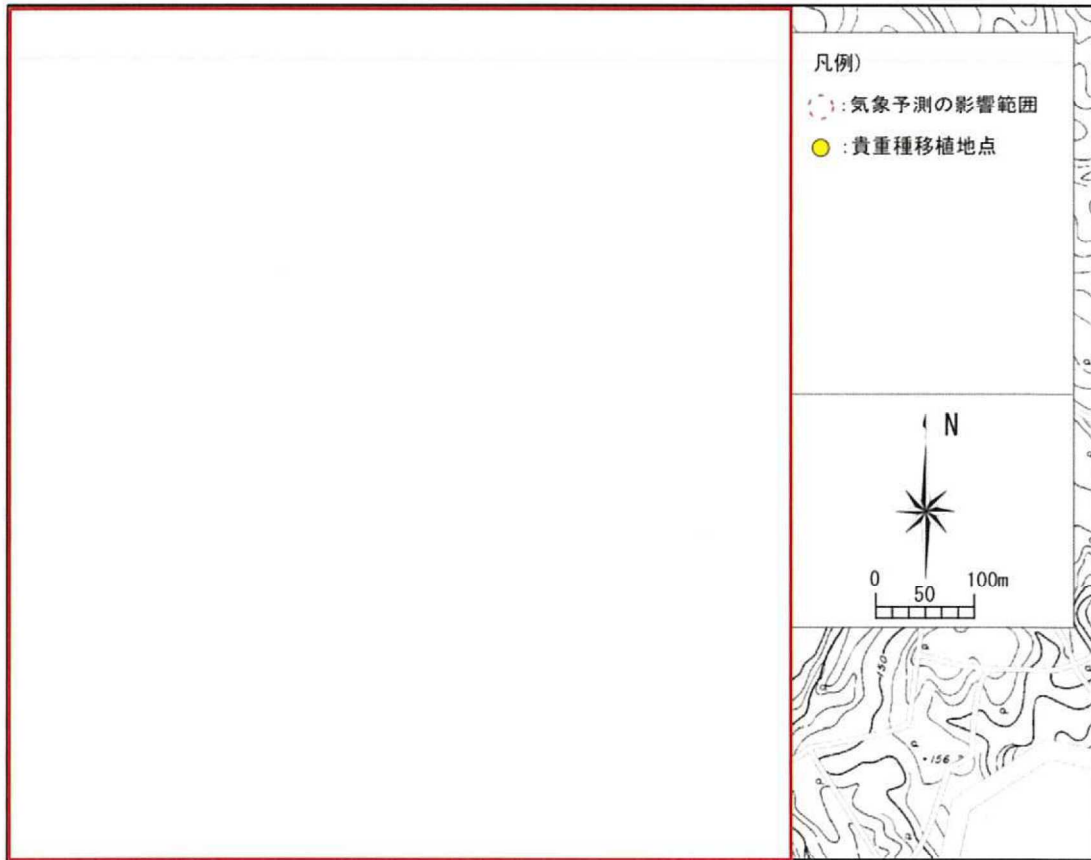
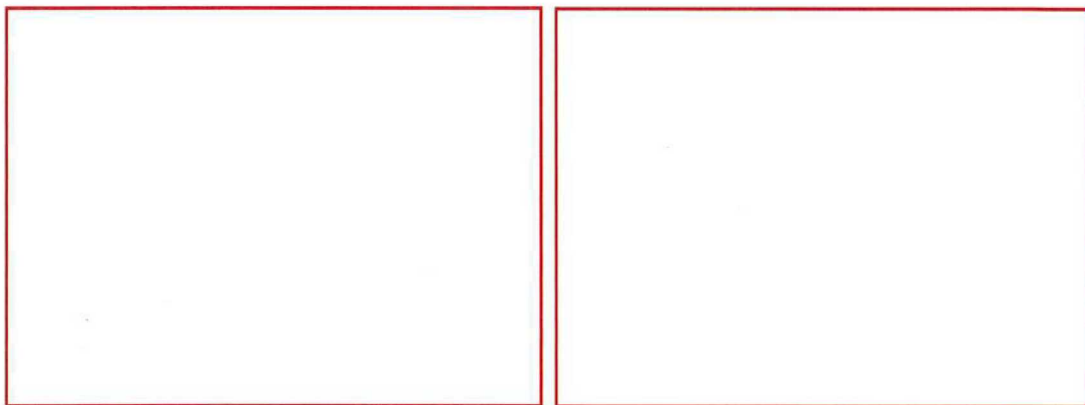


図 6.3-25 貴重な植物の移植地点(H地区)



移植地 H①: 林内

()、()、() を移植

移植地 H②: 林内(沢筋近くの林内)

() を移植

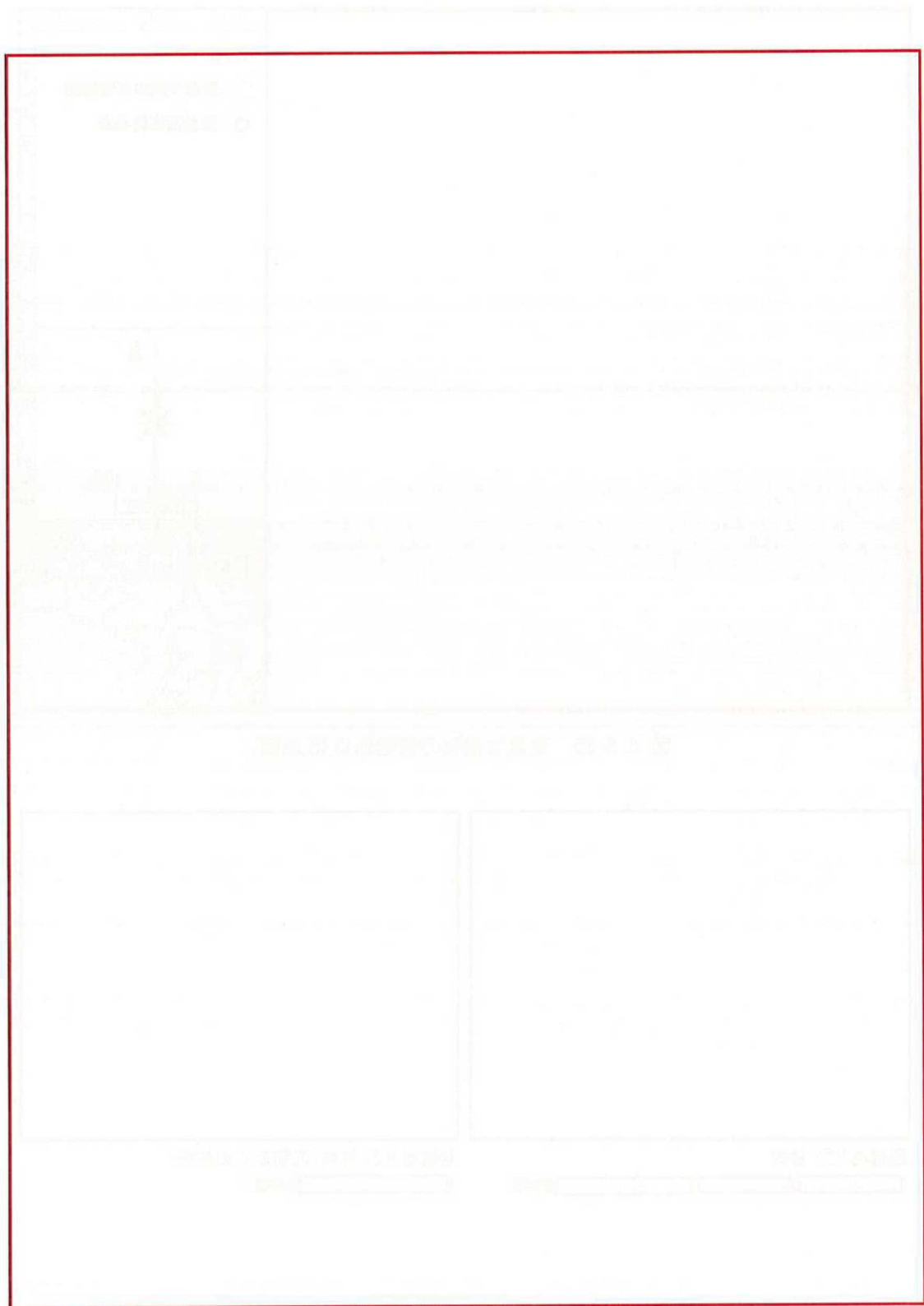


図 6.3-26 移植した貴重な植物種の特徴

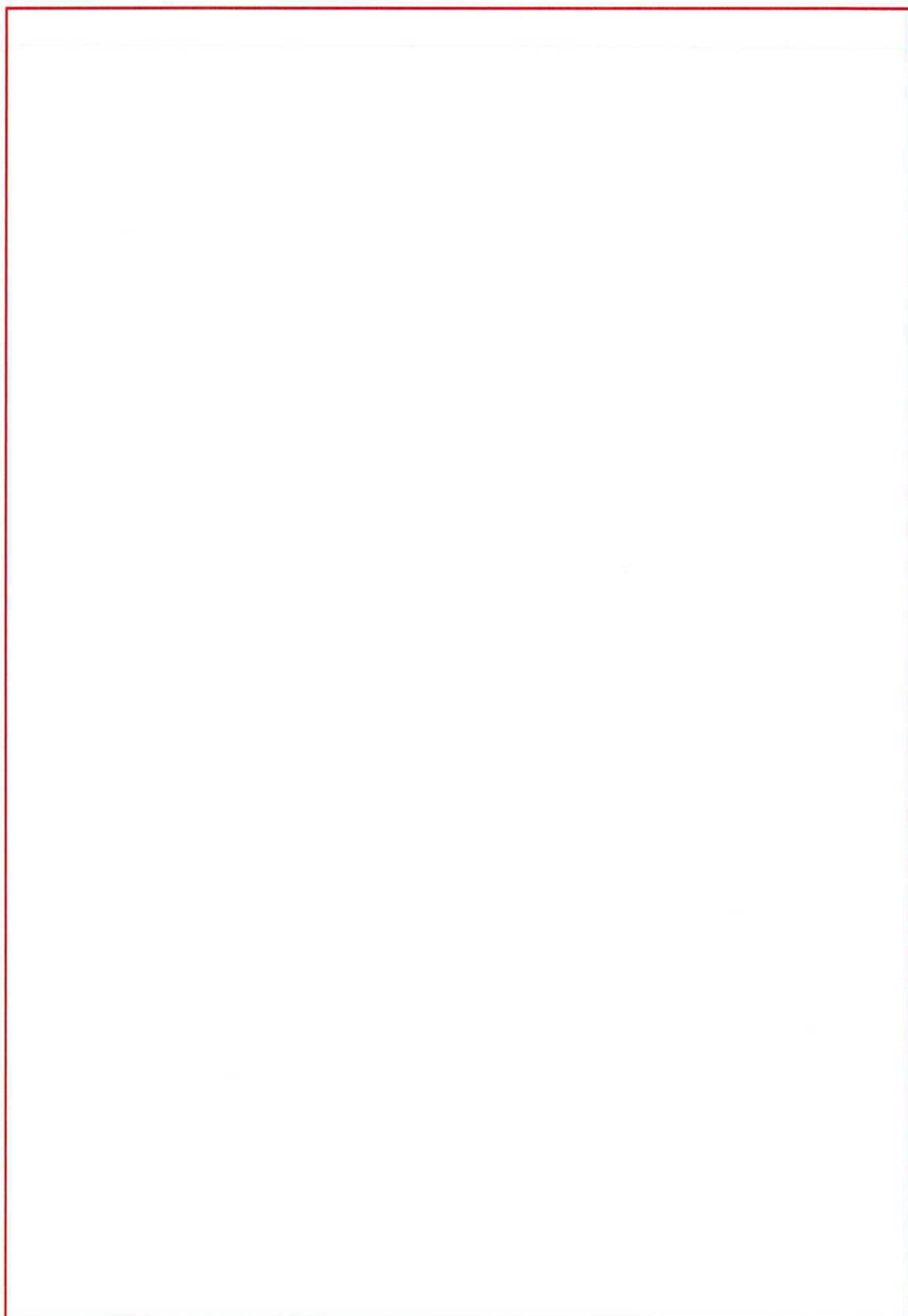


図 6.3-27 移植した貴重な植物種の特徴

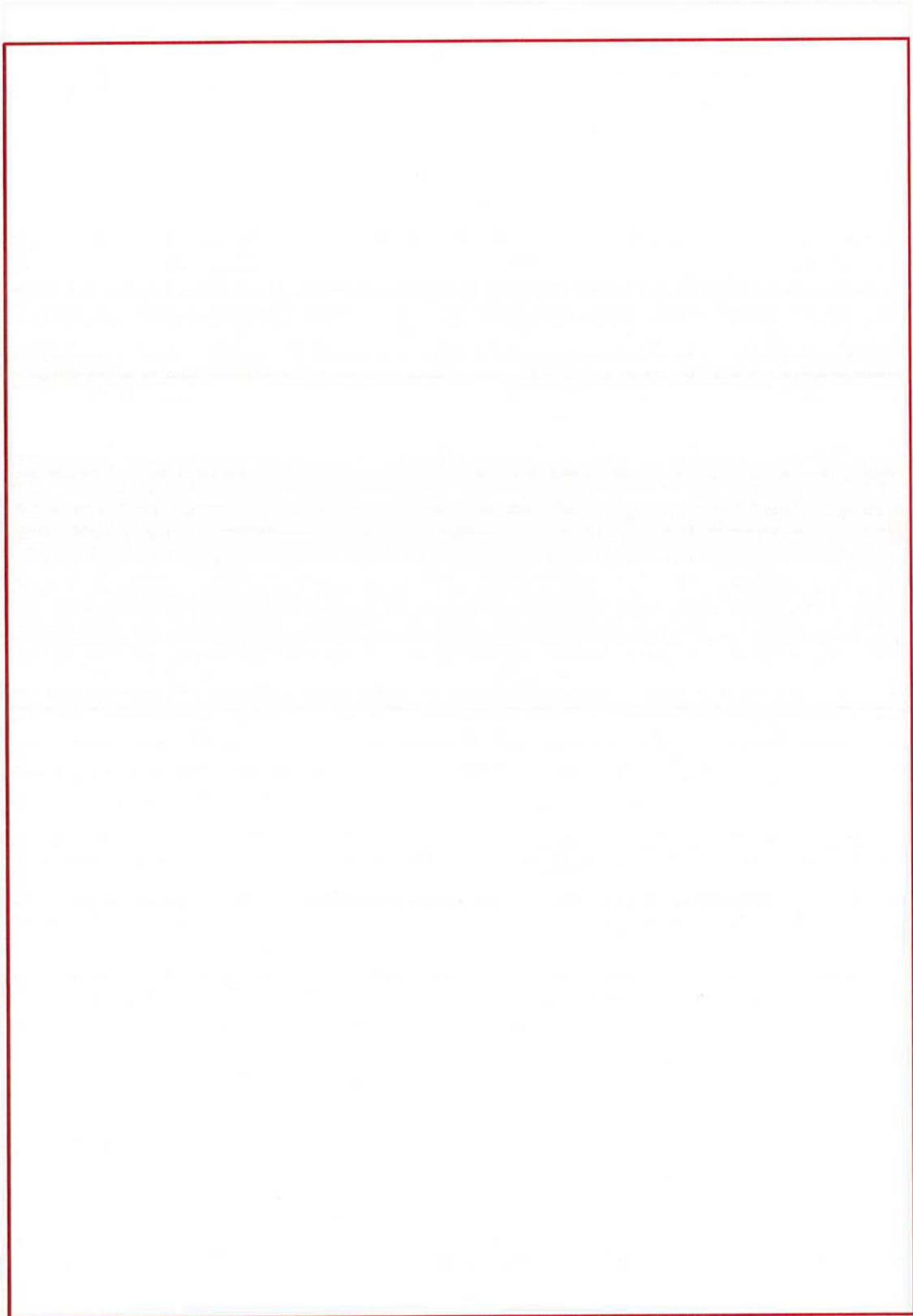


図 6.3-28 移植した貴重な植物種の特徴

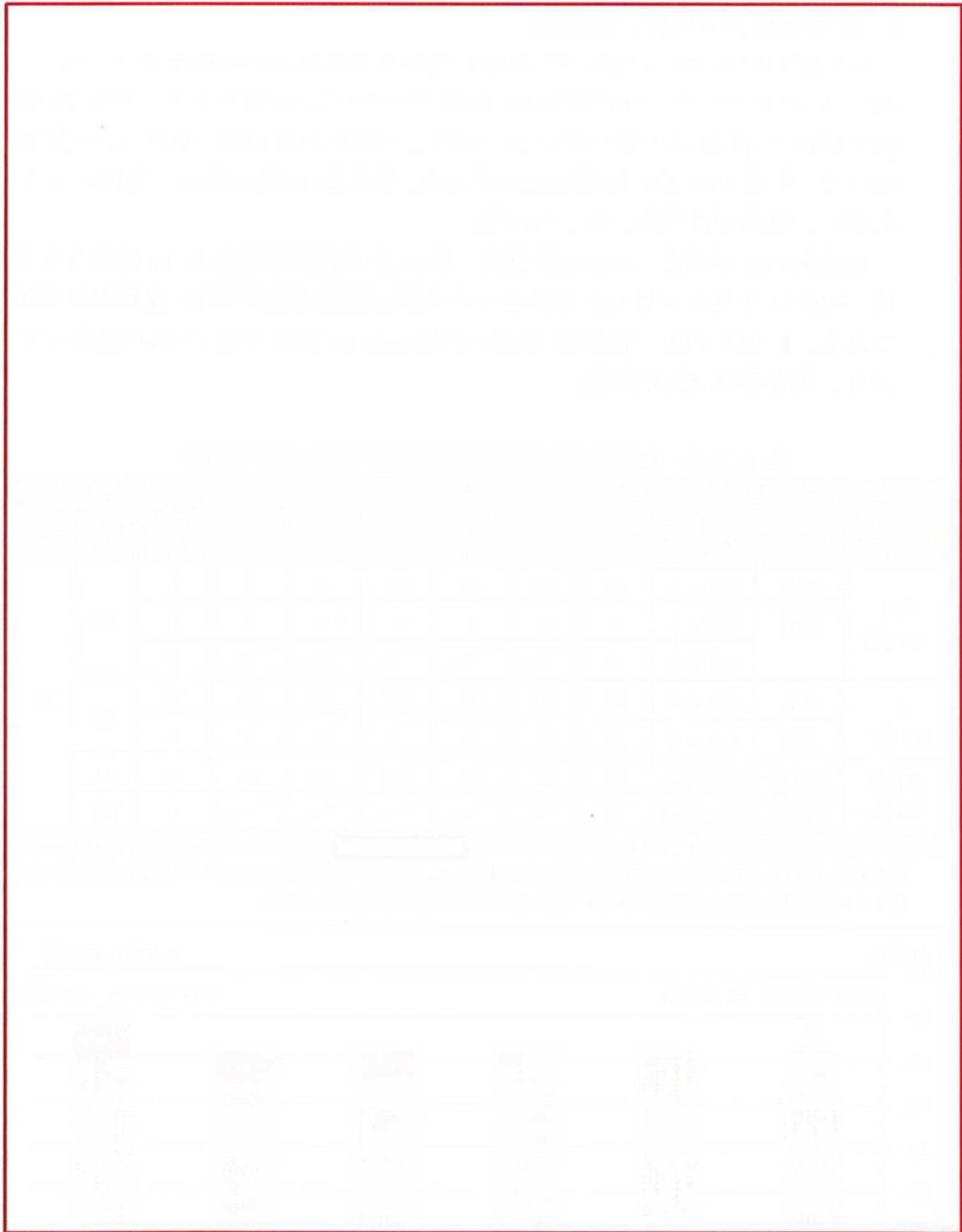


図 6.3-29 移植した貴重な植物種の特徴

4) 移植後の生育状況

(1) 全移植株(N-4 地区、H 地区)

N-4 地区及びH地区において、移植した株の生存状況の推移を表 6.3-10、図 6.3-30 に示した。移植株数は、両地区合わせて 58 株であり、平成 24 年度末現在で 49 株が生育している。移植した株の生存率は、平成 24 年度末現在で、平成 19 年度に移植した株の 83%、平成 24 年度に移植した株の全て(100%)、全体では 84%となっている。

地区別の生存率は、N-4 地区では、平成 19 年度に移植した 11 株のうち 3 株、平成 24 年度に移植した 6 株全ての生存が確認されており、生存率は 53%である。H 地区では、平成 19 年度に移植した 41 株のうち 40 株が生存しており、生存率は 98%である。

表 6.3-10 移植株の生存状況の推移(各年度の最終調査時)

地区 (移植株数)	移植地	移植年度	移植株数	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	生存率(%)	
				生存株数	生存株数	生存株数	生存株数	生存株数	生存株数	地区別 年度別	全体
N-4 (17 株)	N4①	平成 19 年	10	10	10	6	3	3	2	53	84
	N4②	平成 19 年	1	1	1	1	1	1			
		平成 24 年	6					6			
H (41 株)	H①	平成 19 年	33	33	33	33	33	33	33	98	
	H②	平成 19 年	8	8	8	8	7	7			
株数計 (58 株)	平成 19 年度移植株		52	52	52	48	45	44	43	83	
	平成 24 年度移植株		6						6	100	

注) 冬季(年度の最後の調査)に落葉して地上部が確認できない種()については、次年度の調査で地上部の葉が確認された場合は、前年度の冬季調査結果を生存として計数した。また、本年度調査については、最終調査が冬季のため、株によっては落葉して地上部が確認できない場合、秋季の調査結果を基に計数している。

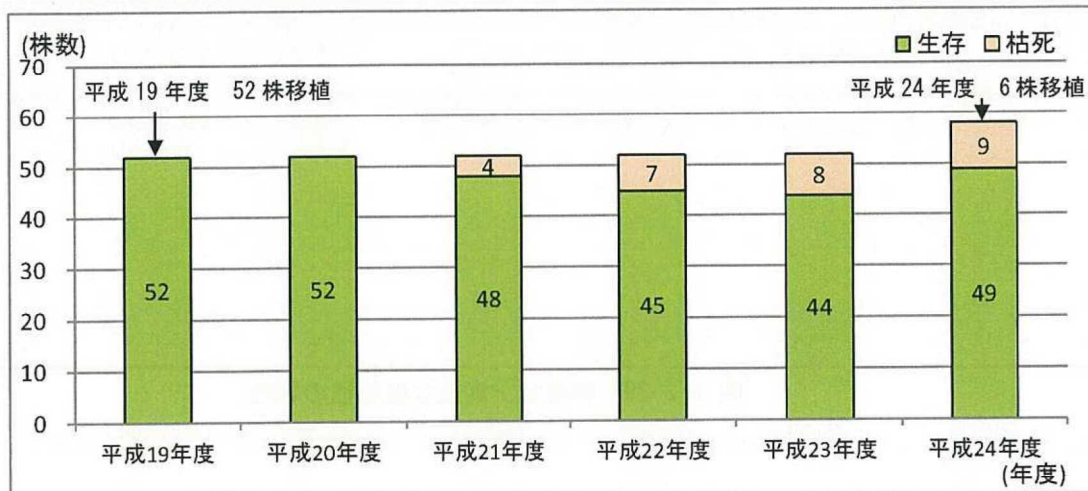


図 6.3-30 移植株全体の生育状況の推移

(2) N-4 地区

N-4 地区に移植した株の種別の生存株の推移を表 6.3-11 に、全株の生育状況の推移を図 6.3-31 に示した。

N-4 地区へは、平成 19 年度に 11 株、平成 24 年度に 6 株の計 17 株を移植しており、平成 24 年度においては 9 株が生存している。このうち、平成 19 年度に移植した 11 株は、移植後 2 年目までは全ての株が生存していたが、平成 21 年度以降に生存率が低下し、平成 24 年度では 3 株が生育している。平成 24 年 8 月に新たに移植した 6 株については、現在も生存が確認されている。

N4①へは、 (6 株)、 (3 株)、 (1 株) の 3 種 10 株を移植しており、これらの種は移植後の生存率が低く、平成 24 年度で 2 株 (, 各 1 株) が生存している。N4①については、枯死原因について、学識経験者が現地を確認したところ、株により枯死原因は異なるが、主な原因としては、降雨による表土侵食の影響、台風等に伴う落葉・倒木や風による着葉の消失、乾燥化等が主な原因として考えられるとの助言を受けた。

N4②へは、平成 19 年度に 1 株 ()、平成 24 年度に 6 株 (5 株、 1 株) の計 2 種 7 株を移植しており、平成 24 年度では移植株は全て生存している。なお、N4②移植地では、移植した と の開花や結実が確認されている。また、移植地内において移植株以外の の生育も確認されている。

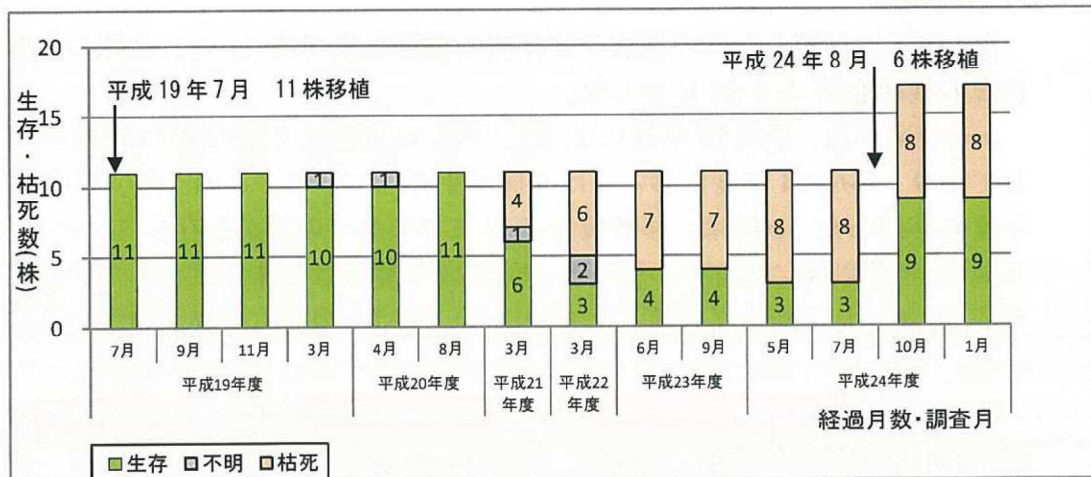
表 6.3-11 移植株の生存状況の推移(各年度の最終調査時)

種名	移植株数	移植年度	移植地	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	
				生存株数	生存株数	生存株数	生存株数	生存株数	生存株数	生存率 (%)
	6	平成 19 年	N4①	6	6	4	2	2	1	17
	3	平成 19 年	N4①	3	3	2	1 ^{注3)}	1	1	33
	1	平成 19 年	N4①	1	1	0	0	0	0	0
	1	平成 19 年	N4②	1	1	1	1	1	1	100
	5	平成 24 年	N4②						5	100
	1	平成 24 年	N4②						1	100
株数合計	17	-	-	11	11	7	4	4	9	53

注 1) は移植時に開花がみられなかったため種名が特定できなかったが、後に と判明した。

注 2) は、冬季(年度の最後の調査)に落葉して地上部が確認できない株については、次年度の調査で地上部が確認された場合は、前年度の調査結果を生存として計数した。

注 3) 平成 22 年度 3 月において、2 株のうち 1 株は生存不明であったが、平成 23 年度の初回調査時に枯死が確認されたため、生存株は 1 株とした。



注)不明は、季節によっては地上部で葉が確認できない株()等、調査時に生存が明確に判定出来なかったものを示す。

図 6.3-31 移植株全体の生育状況の推移(N-4地区)

なお、N4①では、移植後に特定の種の異常な繁殖・衰退などの周辺植生の攪乱は確認されなかった。また、N4②では移植時による草刈りを行ったが、移植後に草本類を主体とした植生が回復し、それ以降は目立った変化は見られなかった(図 6.3-32)。

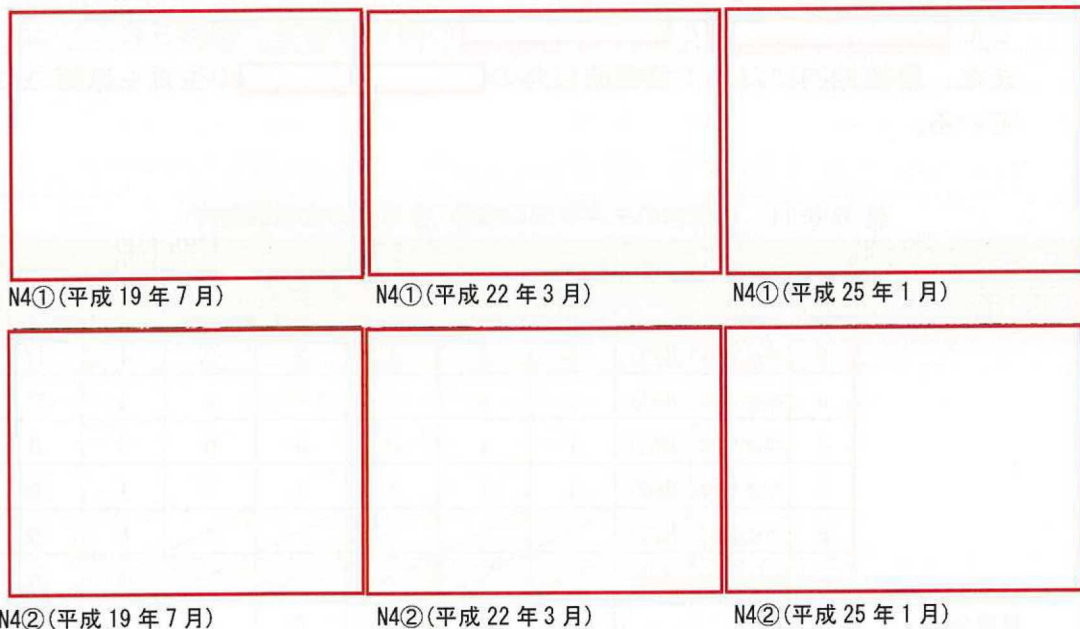


図 6.3-32 移植地の状況(N-4地区)

(3) H 地区

H 地区に移植した株の種別の生存率の推移を表 6.3 10 に、全株の生育状況の推移を図 6.2 32 に示した。

H 地区へは、平成 19 年度に 41 株を移植しており、平成 24 年度においては 40 株が生存している。

H①へは、 (19 株)、 (5 株)、 (9 株) の 3 種 33 株を移植しており、平成 24 年度において全て生存している。なお、 では、開花・結実が確認されている。

H②へは、 (8 株) の 1 種 8 株を移植しており、平成 24 年度では 7 株が生存している。なお、移植株では開花・結実が確認されている。

表 6.3-12 移植株の生存株の生存状況の推移(各年度の最終調査時)

種名	移植株数	移植年度	移植地	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	
				生存株数	生存株数	生存株数	生存株数	生存株数	生存株数	生存率 (%)
	19	平成 19 年	H①	19	19	19	19	19	19	100
	5	平成 19 年	H①	5	5	5	5	5	5	100
	9	平成 19 年	H①	9	9	9	9	9	9	100
	8	平成 19 年	H②	8	8	8	8	7	7	88
株数合計	41	-	-	41	41	41	41	40	40	98

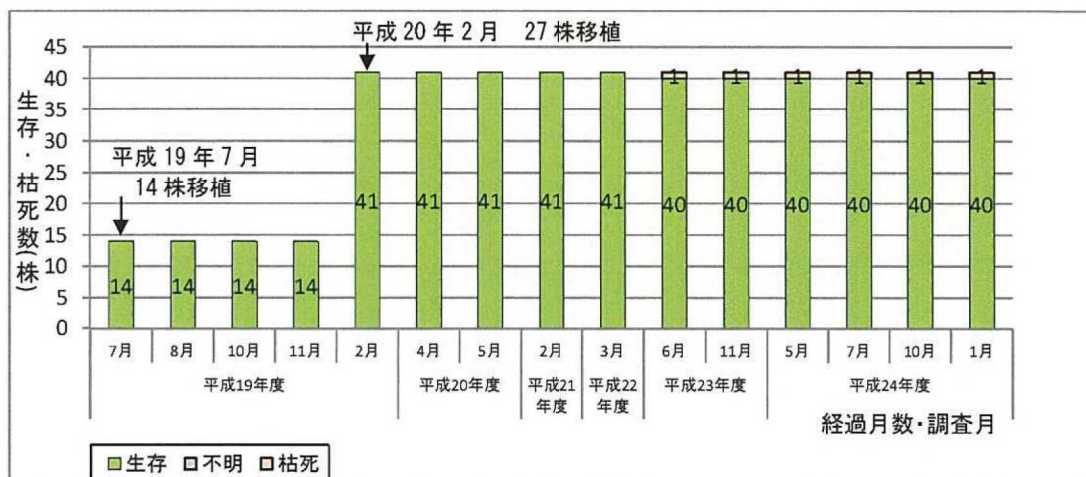


図 6.3-33 移植株全体の生育状況の推移 (H 地区)

なお、H①、H②とも、移植後に特定の種の異常な繁殖・衰退などの周辺植生の攪乱は確認されなかった(図 6.3-34)。

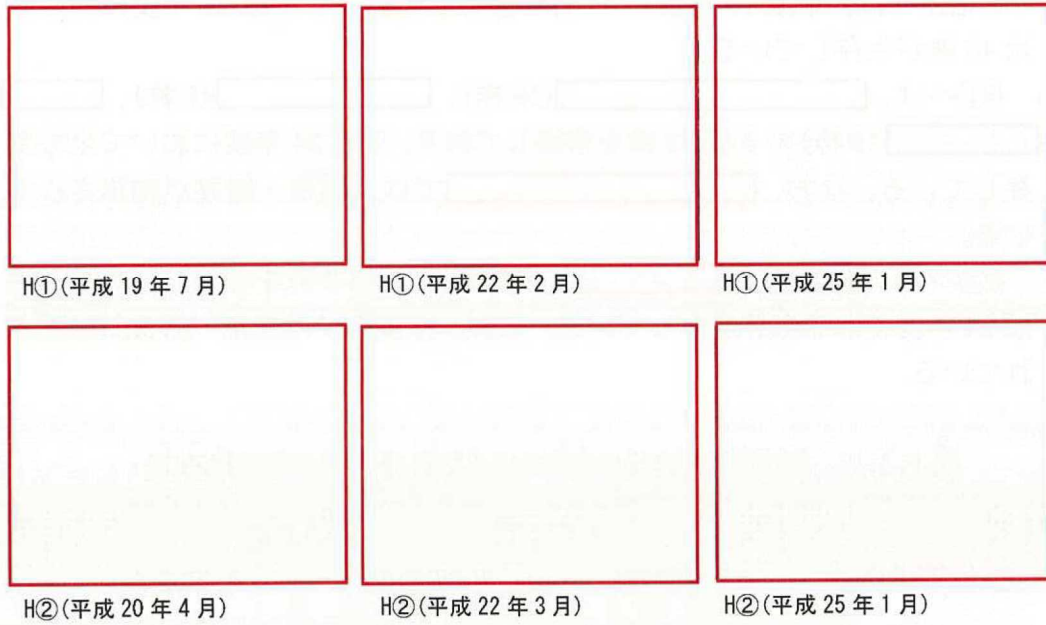


図 6.3-34 移植地の状況(H地区)